



生き抜く新社会人!!

教わり上手のコツ

超々基本編

1

一言声かけ タイミング

教わる・報告する相手への気遣いを忘れないこと。

相手にだって都合がある！タイミングやクッション言葉を使った声かけを心がけよう。

(例)
お忙しい所申し訳ありません。今、お聴きしてもいいでしょうか？



2

素直に聴く

目上の人・先輩の話は、まずは最後まできちんと聴くこと。「でも・だって」の否定や反論意見は悪いことではないけれど、まずは相手の言葉を真つ新たな気持ちで最後まで受け止めてから意見をいうのがBetter! でも、否定・反論の言い方には注意してね。



3

しっかりメモ リアクション

教わったことはメモを取り、次からは自分ひとりで、できるようにすること。
教わる時は、

「きちんと聴いてます！」

という姿勢を見せるためにも、うなづきや相槌のリアクションも大切。



4

感謝の一言

「教えてもらって当然」という態度はNG。その場と実践後に、きちんと感謝の気持ちに乗せて、お礼を言おう。

